

令和2年度 富洲原複合型サービスセンター「サービス評価」 総括表

出席者

※市町村職員： 名※サービス評価委員： 名※地域住民： 名※地域包括支援センター： 名※在宅介護サービスセンター： 名 事業所職員：

項目	内容	前回の改善計画	事業所意見	サービス評価委員	地域意見	今回の改善計画
<p>A. 事業所自己評価の確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のスタッフ全員で自己評価に取り組んだか ・自己評価にスタッフの意見が反映されているか ・改善計画は具体的か 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度目標のテーマをたててその目標に具体的に取り込んで行く。 ・自己評価を実施した後、職員全体で事業所としての評価を確認していく。 ・情報共有の徹底を図る。『報・連・相』の徹底。 ・自己評価の中から課題をみつけ解決しながら事業所を改善していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根付いた複合型サービスを目標に、地域行事に積極的に参加し地域密着をテーマに取り組んでいこうとした矢先、コロナによりその予定に狂いが生じ、思うような取り組みができませんでした。 ・今年度も自己評価にて職員全員が自分の行動等を振り返り、自己評価を行いました。職員による事業所評価は、住み慣れた地域との連携が取りづらい年となったため、思うような結果は出せませんでした。 ・情報共有は電子カルテの利用で、「報・連・相」ができるようになったと思います。 ・自己評価からの課題は、サービス向上のための自己研鑽で個々に目標を定め取り組んでいきたいと思えます。 	<p>ミーティングを行いながら、情報共有の確認を個人情報に気を付けてしっかりしていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と同様の指摘となり恐縮ですが、今回の自己評価の状況で、「ほとんどできていない」と回答する人が今回も少ないながらも存在することには不安を覚えます。単に過小評価が過ぎる程度ならよいのですが、中にはヒアリの原の因ともなり得るような項目も含まれており、ミーティングや申し送りも行わない職員、計画書に沿った支援が行われたかのチェックもしない職員の存在は施設にとっては脅威ではないでしょうか？ ・サービス評価の所から、前回の課題に「ほとんどできていない」と書かれた方や、今回の自己評価も「ほとんどできていない」と評価された方がみえましたが、なぜ「ほとんどできなかった」のかを振り返っていただけると今後につながると思います。 ・全体的に丁寧な評価を行っていただいていると感じます。ただ謙遜からか「よくできている」が少ない印象を受けます。徐々に数が増えていくことを期待しています。 ・電子カルテの利用で、報連相ができるようになったのは素晴らしいと思います。 ・スタッフ全員での情報共有ができている事は評価が高いと思います。 ・今年度はコロナ禍の中、大変だったと思いますが、その中でもスタッフ一同連携を図り、工夫されていることに感じ入っています。また前向きな姿勢も感じられ期待されます。 ・評価基準4段階ですが、「よくできている」「なんとかできている」の間に「できている」を入れて頂くと、職員の方の意欲とかかわり方の見える化が更にできるかと思えます。種々マイナス思考に思いますが、人権・プライバシーに関しては意識が高く感心致しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度テーマに、「自立支援のためのサービス向上」を目標に取り組む。 ・自己評価は「できている」を追加し5段階評価とし、自己評価が向上できるように取り組む。 ・電子カルテ「ほのぼの」を利用した情報共有『報・連・相』の徹底を行い、時間の有効活用を行う。

令和2年度 富洲原複合型サービスセンター「サービス評価」 総括表

出席者

※市町村職員： 名※サービス評価委員： 名※地域住民： 名※地域包括支援センター： 名※在宅介護サービスセンター： 名 事業所職員：

項目	内容	前回の改善計画	事業所意見	サービス評価委員	地域意見	今回の改善計画
B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がされているか ・事業所内・外に不快な音・臭いはなく居心地の良い空間か ・日中、事業所の門・玄関に鍵はかかっているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が過ごしやすい環境を目指し、安全で安心な環境を意識していく。 ・事業所内の危険箇所等の見直しを行う。 ・利用者の居心地のよい空間づくりに取り組む。 ・感染対策にも気を配る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナにより外部との交流は行えておりません。センター内で過ごすことが多くなったため、1階ホールにマッサージ器や物理療法器を準備し、気分転換や機能向上につとめました。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の方々が安全・安心できる場作り、環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から貴施設は「利用者にとって居心地」が良く、「家族や地域の方が気軽に入り」やすく配慮された施設であると感じております。感染症感染防止のため、外部と遮断せざるを得ない状況となったことは残念ですが、利用者の気分転換となるようにとの配慮がなされていることよく理解できました。 ・玄関から入られても、気が付かない時があったりします。誰か来たらすぐ分かる仕組みがあればいいなと思います。 ・外出がなかなかできない分、メドマー等の導入により利用者さんの居心地の良さは向上していると思います。コロナ禍で地域の人たちがふらっと出入りするの難しいご時世ですので、事業所からの情報発信がこれからは重要になると思います。 ・コロナ禍での環境保全是難しいかと思いますが、利用者ファーストで取り組んでいるのが良いと思います。 ・マッサージ器や物理療法の設置による気分転換や機能向上は評価できる。コロナ終息まで継続を。 ・外出の機会の減った中、色々と工夫されており良かったと思います。 ・工夫をして見え、1階ホール使用が増してきている様子。よかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策を継続しながらも、利用者様の居心地のよい空間づくりに取り組む。 ・常に危険箇所はないかの確認を行い、利用者様が安全に過ごせるよう気を配る。

令和2年度 富洲原複合型サービスセンター「サービス評価」 総括表

出席者

※市町村職員： 名※サービス評価委員： 名※地域住民： 名※地域包括支援センター： 名※在宅介護サービスセンター： 名 事業所職員：

項目	内容	前回の改善計画	事業所意見	サービス評価委員	地域意見	今回の改善計画
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の挨拶・態度はきちんとしているか ・事業所は、地域の方に知られているか ・事業所のスタッフは地域の行事やイベントに参加しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への外出行事にきらく会関係の行事参加を加えてみる。 ・地域の祭りなど地域行事への参加を継続する。 ・地域の方と関われる企画を考え、地域との交流をはかる。 ・地域との関りが事業所の負担にならないように事業所自体が地域の中で自然体で存在できる形を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナにより、外部との接触を避けたので行事やイベントの参加は行っていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントに出向き、地域の人々と交流を深める。 ・地域の社会福祉活動に参加できるように取り組む。 ・事業所のPRを自治会・社会福祉協議会・民生委員会に回覧をして頂く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複合型サービスセンターがあることは知っていても、どのようなサービスをする所など、まだまだ知らない方が多いように感じます。周知できる機会があればいいのになと思います。 ・運営推進会議にサロンや老人クラブの方が出席いただける場所は少ないので、きらく会さんたちからの情報は地域とのかかわりにおいて重要になるのではと思います。 ・今年度は無理のない程度で行ってください。 ・やむを得ないです。 ・地域としても祭りやイベントを中止し、皆さんとの交流も出来ず残念に思っています。 ・どこでもそうですね。イベントは無理ですが情報提供はしっかりと実施して見えよいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々と友好な関係が築いていけるよう、行事やイベント、社会福祉活動への参加や交流を行う。 ・各地域のサロンや老人クラブの方々からの情報を得ながら、地域との交流をはかる。

令和2年度 富洲原複合型サービスセンター「サービス評価」 総括表

出席者

※市町村職員： 名※サービス評価委員： 名※地域住民： 名※地域包括支援センター： 名※在宅介護サービスセンター： 名 事業所職員：

項目	内容	前回の改善計画	事業所意見	サービス評価委員	地域意見	今回の改善計画
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者を事業所の中だけに閉じ込めていないか ・利用者は地域の行事やイベントに参加しているか ・利用者以外の近所の方などへも、事業所は関わっているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の住んでいる地域をもっと知る。 ・地域の方と触れ合えるような行事を企画してみる。 ・事業所のメリットを生かした取組みを考える。 ・利用者さんの状態や背景を再度確認し、支援内容に盛り込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナにより外部との接触を避けた年となりました。新しい生活様式を身につけたうえで、今後は取り組んでいきたいと思えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の方と一緒に地域に出向いて、町の様子を見てみる。 ・良いところを見つけて散歩コースをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで施設外に出向いたりということは難しいと思います。コロナが落ち着いたら、地域の行事等にも以前のように参加して頂けたらと思います。 ・コロナ禍で地域の行事もなかなか行えないため、利用者さんの住んでいる地域のことを知っていただくことが中心となるのではと思います。 ・地区行事が何もなくて対応が大変だったと思います。 ・地域の範囲が広い中で、地域の何を知りたいのでしょうか？職員は。(富田一色、富洲原町、松原町、平町、天カ須賀、東富田町、松寺、蒔田、川北、大矢知町、垂坂) ・やむを得ないと思います。 ・前向きによりしくお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当ごとに、各地区の情報を調べ、利用者様の住んでいる地域をもっと知る。 ・利用者の方と一緒に地域に出向いて、利用者さんの状態や背景を再度確認し、支援内容に盛り込む。

令和2年度 富洲原複合型サービスセンター「サービス評価」 総括表

出席者

※市町村職員： 名※サービス評価委員： 名※地域住民： 名※地域包括支援センター： 名※在宅介護サービスセンター： 名 事業所職員：

項目	内容	前回の改善計画	事業所意見	サービス評価委員	地域意見	今回の改善計画
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の取組みが分かりやすく説明されているか ・地域の心配な方等の事例検討が行われているか ・運営推進会議で出た意見を改善につなげているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議にテーマを設け、問題解決につながるような会議にしている。 ・運営推進会議に利用者様の家族に参加してもらい、意見を聞く。 ・運営推進会議の内容を再検討し、より有意義なものにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナにより運営推進会議は行えず、思うような結果が出ていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の家族を会議に参加してもらって、意見を聞く。 ・他の施設の様子を聞いては？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで会議を行うこともできず大変だと思います。でも書面にて活動報告をして頂くことで、事業所の取組みを知ることができるのでいいと思います。 ・コロナ禍において、集まったの会議はなかなか難しくなりましたが、文書報告の資料が分かりやすいです。文書の場合、なかなか意見が出にくいと思いますので、逆に事業所側から委員に対し聞きたいことがあれば、項目を挙げてアンケートのようにするのも1つの手だと思います。 ・次年度に期待したいと思います。 ・「富洲原複合型サービスセンターのご案内」の説明会とか百歳体操の場を利用したPRは出来たのでは？ ・仕方ないですね。 ・会議はできませんが、皆様でさまざまな検討課題を持ち取り組んでおられる様子頑張ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の取組みを知ってもらうために、家族からの声を発信していく。 ・運営推進会議の内容を再検討し、より有意義なものにする。

令和2年度 富洲原複合型サービスセンター「サービス評価」 総括表

出席者	※市町村職員： 名※サービス評価委員： 名※地域住民： 名※地域包括支援センター： 名※在宅介護サービスセンター： 名 事業所職員：					
項目	内容	前回の改善計画	事業所意見	サービス評価委員	地域意見	今回の改善計画
F. 事業所の防災・災害対策	<p>事業所は、地域の防災訓練に参加しているか</p> <p>事業所の防災計画・防災訓練の内容は把握できているか</p> <p>災害時、事業所は頼りになるか</p>	<p>・防災マニュアルを具体的に行動できるような明確なものに見直しを行う。</p> <p>・停電に対する対策や水害対策等をマニュアル化する。</p> <p>・年2回の防災訓練だけでなく、1か月に1回程度訓練をセンターで行う。</p> <p>・地区の防災訓練との連携を検討する。</p>	<p>・今年度は水害の怖さを実感し、改めて防災や災害に対する危機感を持ち対応を検討する年となりました。すべてのマニュアルの確認から修正まで、まだ行えておりませんので早急に対応してまいります。</p>	<p>・事業所の防災についての資料を家族に配布する。</p> <p>・事業所独自の防災マニュアルを作成して家族に配布する。</p>	<p>・停電に対する対策、水害対策等のマニュアルについては、今後、内容を確認し修正を行うとのことです。そのプロセスには様々な職種からの利用者の安全安心を考慮した意見を反映していただき、実際に活用しやすいマニュアルとなることを願っています。</p> <p>・地震や水害など各地で起きています。マニュアル確認、とっさに行動できるように日常から訓練していただければと思います。</p> <p>・「防災」といっても様々な種類の災害があるため、まずは検討と記載いただいているとおりマニュアルの整備をお願いします。地震等の大規模災害については、地域の避難場所を事業所職員や利用者さんにも知って頂ければと思います。地域との連携の程よろしくをお願いします。</p> <p>・防災マニュアルの再点検が必要かと思えます。</p> <p>・余裕のある年に検討できなければ、この先を確認や修正は出来ないのでは？</p> <p>・コロナ対策も重大な災害となり、世界中が大変でした。また他県では地震等、重ねて被害を受けた地域もあり、いつ自分達にも降りかかるか分らず不安である。地域全体で取り組まないといけないテーマであると認識している。</p> <p>・国県市も災害対策は重要視してます。それぞれのBCPを考えていく必要がありますね。作成していきましょう。</p>	<p>・各災害に応じた事業所独自のマニュアルの作成。</p> <p>・大規模災害時における地域との連携、家族との連絡などの確認。</p> <p>・BCPの検討。</p>